

確認していますか、 LTBI（潜在性結核感染）* ？

インターフェロン- γ 遊離試験キット クオンティフェロン[®] TB ゴールド (QFT)



インターフェロン- γ 遊離試験 (interferon-gamma release assay : IGRA) は
透析施設の結核感染予防における潜在性結核感染 (LTBI) の診断に有用

- “透析患者は一般人と比べて、約 2 倍～ 25 倍結核感染のリスクが高い”¹⁾
- “ツベルクリン反応よりもインターフェロン- γ 遊離試験 (IGRA) が感染の診断に有用である”¹⁾
- “潜在性結核感染透析患者は治療することが推奨される”¹⁾
- “IGRA は結核菌特異抗原を用いているため BCG 接種の影響を受けないことから、わが国のように BCG 接種率の高い国では特に有用性が高いと考えられる”²⁾

* 潜在性結核感染症 (latent tuberculosis infection : LTBI) : 結核菌に感染していること自体が潜在的な疾患であるとの考え方²⁾

“透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（四訂版）” では末期腎不全における LTBI の診断方法として IGRA の有用性が認められています

上記ガイドライン（四訂版）より抜粋¹⁾ (P113)

2) ツベルクリン反応よりもインターフェロン γ 遊離試験 (IGRA) が感染の診断に有用である。(Level 1 B)

透析患者における潜在性結核感染の診断において、ツベルクリン反応は免疫能低下により、感度が低く、偽陰性を呈することが多い。また、逆に BCG により偽陽性を呈することもある。一方、QuantiferON TBゴールドや T-spot TB などのインターフェロン γ 遊離試験 (IGRA) は透析患者においても有用である。

(中略)

また、IGRA は潜在性結核感染の診断に有用である。末期腎不全患者における潜在性結核感染の診断方法に関する 30 の研究を解析したメタアナリシスでは、ELISA による IGRA は種々の結核のリスクと関連しており、従来のツベルクリン試験よりも、特異性、感度に優れていることが示された。

透析導入時には IGRA による結核感染のスクリーニングが 大切です

参考資料

- 1) “透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（四訂版）”平成 27 年 3 月 31 日発行 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業 HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究 (H24-エイズ-指定-002) HIV 感染患者における透析医療の推進に関する研究
- 2) “潜在性結核感染症治療指針”平成 25 年 3 月発行 日本結核病学会予防委員会・治療委員会

検査要項

検査コード	検査項目	材料	検体量	容器	保存条件	所要日数	検査方法	基準値	診療報酬区分番号	保険点数	保険収載名称
9891	クオンティフェロン (3G TB IFN- γ)	全血	6.0 mL	QFT	2～8℃	3～11日	ELISA 法	陰性	D015-25	630	結核菌特異的インターフェロン γ 産生能

※結核菌特異的インターフェロン γ 産生能は、診察又は画像診断等により結核感染が強く疑われる患者を対象として測定した場合のみ算定できる。
※九州、沖縄地区の所要日数は 4～11 日です。

Trademarks: QIAGEN® (QIAGEN Group).

本文に記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。 2017年01月作成 © 2017 QIAGEN, all rights reserved.



【お問い合わせ先】

株式会社 キアゲン カスタマーサポート
〒104-0054 | 東京都中央区勝どき 3-13-1 | Forefront Tower II
Tel:03-6890-7300 | Fax:03-5547-0818

【選任製造販売業者】

株式会社 キアゲン
〒104-0054 | 東京都中央区勝どき 3-13-1 | Forefront Tower II
Tel:03-6890-7300 | Fax:03-5547-0818

